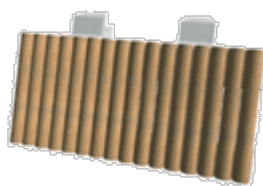
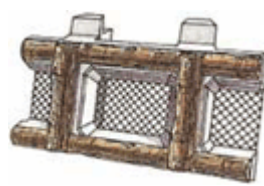


▼積みブロック

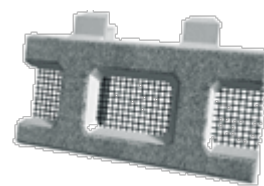
自立フレーム



木柵タイプ



木枠タイプ

詰石
植生土嚢
種子吹付け
タイプ

《特長》

- 自立フレームの表面又は裏面に様々な素材を付けることにより、多種の護岸(木柵工、詰石工、植生土嚢工、ジオテキスタイル工、吹付工等)に対応します。
- 自立フレーム自体で自立でき、また大型で簡単な噛み合わせ構造なので施工が容易です。
- 安定については自立フレーム同士の噛み合わせにより土圧に抵抗する構造となっています。
- 噛み合わせによる組立構造であり、リサイクルも可能で省資源循環型の製品です。
- 従来工法に較べて工期が大幅に短縮でき経費が節減されます。
- 標準型の他にカーブ対応型もあります。

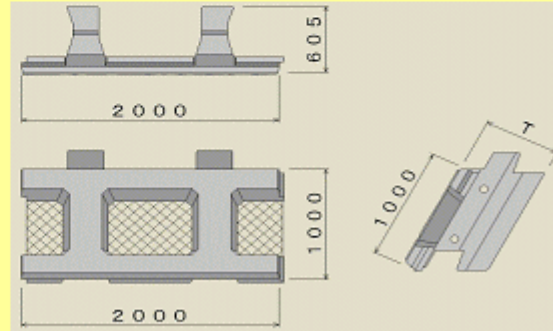
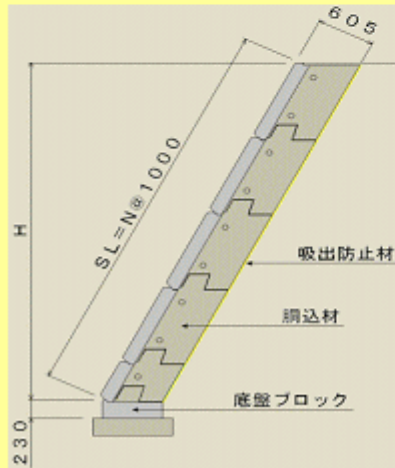
《適応範囲》

- 設計条件： 土の内部摩擦角 $\phi=35^\circ$ 裏込材の単位体積重量 $\gamma=2.0(t/m^3)$
中詰材の単位体積重量 $\gamma_n=1.7(t/m^3)$ 法勾配 1:0.5 の場合
- 標準型を用い、上載荷重なしの場合…………… 5.0m
- 標準型を用い、上載荷重($q=1.0tf/m^2$)が作用する場合…………… 4.0m
- 標準型と特殊型を用い、上載荷重($q=1.0tf/m^2$)が作用する場合… 5.0m



水理
特性値

空積



※底盤ブロック 2,000×615×200 w=620kg

自立フレーム

種別	参考質量 kg	寸法			中詰量 m ³ /m ²	1m ² 当り 使用個数 個
		長さ L	幅 B	控え厚 T		
標準	883	2,000	1,000	0.605	0.355	0.5
特殊L	1,139			0.829	0.520	

≪水理特性≫

諸元項目	原型値
ブロック質量 (kg)	412
ブロック寸法 (m)	1,000×2,000×0.160
揚力作用面積 Ab (m ²)	1.363
抗力作用面積 Ad (m ²)	0.143
横揚力作用面積 Abx (m ²)	1.363

■単体・群体ブロックの抗力・揚力・横揚力係数

測定項目	単体ブロック特性値	群体ブロック特性値
揚力係数 CL	0.06	0.03
抗力係数 CD	0.87	0.40
横抗力係数 CLX	0.01 (左方向)	0.00 (左方向)

■群体上流端ブロックの抗力・揚力・回転半径

測定項目	原型値
揚力係数 CL	0.12
抗力係数 CD	1.01
揚力に対する回転半径 LL (m)	1.135

抗力に対する回転半径 LD (m)	1.062
-------------------	-------

■ 群体ブロックの相当粗度

測定項目	特性値
相当粗度 KS (m)	0.195

※ 留意点

実験条件：覆土無し、客土無し、群体設置時において流水が作用する部分のみ対象
(控え厚部は対象外)

Copyright © 2007. Ryowa Concrete Co,Ltd.All right reserved